

手を貸そう
LEND A HAND

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ (創立 昭和34年(1959年)12月23日)



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL.(072)622-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL.(072)620-2121
 会長/筒 仁一 幹事/掛谷 建郎 会報委員長/吉江 建郎
 委員/山口、山岡 木本

姉妹クラブ:台北西北区扶輪
 友好クラブ:インドネシア・チネレ

No.38 平成16年 4月21日

本日の卓話
 4月21日(水)
 「ロータリー雑誌月間」
 ロータリーの友地区委員 瀬戸孝太郎氏

例会記録

第2188 回例会 4月 14日(水)曇
 ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 上杉輝人様 (大阪府茨木警察署長)

4月会員誕生 山口、久保、簡
 4月夫人誕生 中江節子、大木禮子
 4月結婚記念 坂井、松尾
 4月入会記念 松尾、藤井

会長の時間 筒 仁一会長

観桜会などが残り3週間ぶりにここ京都ホテルでの例会になります、本日は久しぶりに武智会員に出席して頂きました、これからは是非例会に出席して頂きお元氣な姿を見せて下さい。

11時から茨木3RCの会長幹事会があり、大森PGにもご出席して頂き国際大会の交通部会について討議致しました。会員の皆様には全員登録をして頂きましたが、具体的にどう協力していくかは決まっていませんが

出席報告

第2188 回例会			前々回(第2186 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
32 (10)	16	6	72.73 %	1	95.45 %

3RCの会長も交通部会に参加して検討していきますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

幹事報告 掛谷建郎幹事

1、RI及び2660地区連絡事項

1)プレコンベンション「財団学友セミナー」の案内 5/22(土)15:00~17:00
 於:大阪国際会議場

2、その他

国際大会前の5月20日に、台北西北RCメンバー来訪の予定でしたが、名古屋北RC45周年参加と、国際大会参加の日程調節が付かず、当クラブ訪問を中止せざるを得ないとの連絡が入りました。当初5月19日(水)の例会を20日(木)に変更しておりましたが、献血も予定しておりますので、例会後の理事会で決めたいと思います。

委員会報告

親睦活動委員会 山田慶子委員長

4/10(土)の家族親睦観桜会は、大森会員のお世話で、嵐山「錦」ですばらしいお料理を大サービスして頂き楽しい一時を過ごすことが出来ました。親睦委員一同厚くお礼申し上げます。

社会奉仕委員会 松尾康弘委員長

1. 献血のお願い

5/20(木)10:00~16:00、いばらき京都ホテル・チャペルにて献血を行います。案内と献血者記入名簿をお配りしております。ポスターも用意しております。事業所の皆様にご周知頂きよろしくご協力のほどお願い致します。

2. 緑の羽根募金のお願い

羽根はたくさんお取りいただいて、出来れば200円以上でお願い致します。

卓 話

「治安は今 安全安心なまち茨木の実現を目指して」

大阪府茨木警察署長 上杉輝人氏

【近年の治安状況】

3年前、大阪は刑法犯認知件数が32万7000と初めて東京を抜き、過去最多で不名誉な記録を残した。大阪は日本で最も治安が悪く犯罪が多発するまちという印象を全国に広めた。32万件というと1日あたり890件もの犯罪が発生していることになる。

32万件の9割以上は自転車盗、かっぱらい、置き引き、万引きなどの窃盗である。大阪府警は犯罪の増加に歯止めをかけワーストワンの汚名を返上するため、一昨年1月からひったくり、車上狙い、オートバイ盗、路上強盗など、市民の身近で日々発生し不安感を高めている街頭犯罪の抑止と検挙に組織の総力をあげて取り組んだ。

「割れ窓の理論」という考えがある。建物のガラス1枚が破られているのを放置すると、知らないうちにガラスが次々割られ、気がついたときには建物は手がつけれないほど荒廃してしまうというものだ。犯罪も同じで、日々発生する小さな事案を放置すると、それがどんどんエスカレートし、気がついたころには手がつけれない犯罪の温床ができあがってしまう。街頭犯罪に重点を置いたのは、こうした考えに基づくものである。

大阪府警には2万人強の警察官がいるが、一人でも多く街頭に出し、パトロール・検問の強化を通じて街頭犯罪の抑止・検挙に努めた。その結果、一昨年は全国の主要都府県が軒並み認知件数を増加させる中で、大阪は前年比2万6800件減らし(10%減)、茨木署管内も1350件減った(19%減)。ワーストワンの汚名を1年で返上することができた。

昨年も街頭犯罪対策に力を入れた結果、大阪府下でマイナス1万5000件(8%減)と犯罪件数を大きく抑えることができた。大阪としてはよい方向に向かっていると思う。ただ、昨年1年間でまだ28万5000件もの犯罪が発生している。これは10年前に比べ10万件も多い。依然高い水準が続いており、油断することはできない。

今年も犯罪件数は減少しており、街頭犯罪対策は功を奏していると思う。しかし、犯罪の減少は警察の力だけではできない。自治体や関係機関、皆さんの事業所、自治会や地域の住民、各種ボランティアの方々などの「われわれのまちを守る」という意思と力が警察の活動とうまく連動したからである。

街頭犯罪対策の発想は、日々発生する軽微な犯罪を見逃さないことで、殺人や強盗などの凶悪犯の芽を摘もうというものである。これからも手を抜かず続けていく。

【外国人犯罪、少年犯罪、暴力団犯罪】

最近の凶悪事件は冷酷・残忍で、異常で動機がはっきりしないものが多い。福岡の一家4人惨殺事件、長崎の園児殺害事件、東京世田谷の一家殺害事件、群馬・前橋の拳銃無差別発砲事件等々。わけのわからない事件も増えている。

警察が苦慮しているものに、在日外国人とりわけ中国人による凶悪犯罪の急増がある。日本の治安悪化の大きな原因のひとつが在日外国人の犯罪であるということは

決して過言ではない。国際化の波に伴い日本に来る外国人が増え、それとともに外国人犯罪が増えている。殺人や強盗などの凶悪犯が多いのが特徴である。

組織的な窃盗では、特殊な道具を使うピッキングによる空き巣狙い、事務所荒らし、金庫破りなどがある。従来は金庫を壊し現金を盗っていったが、最近は相当重い金庫でも搬出して持っていく。手荒なのが特徴である。こうした侵入窃盗事件を検挙すると、中国人であることが多い。抵抗されると、簡単に強盗にエスカレートさせる。

治安悪化のもうひとつの問題は少年非行である。特に少年犯罪の凶悪化、粗暴化が進んでおり、全国的に大きな社会問題になっている。大阪でひったくりや路上強盗の犯人を検挙すると7割は少年である。大阪では昨年1年間で約1万5000人の少年を検挙した。平成6年以降10年間ワーストワンである。再犯率が非常に高いのが特徴である。

最近の少年犯罪の特徴は3つある。第一は遊ぶための金ほしさに、ゲーム感覚で犯罪を犯すこと。2番目は大人顔負けのずるがしこさ。大阪と京都の境を行ったり来たりして犯罪を犯す中学生グループもいた。3番目は短絡的な動機で犯行に及び、人の心の痛みがわからなくなっていることである。相手が倒れて死ぬまで徹底的に攻撃する。

暴力団による犯罪も懸念している。市民が不安を感じているものに関する朝日新聞のアンケート(今年1月)では暴力団による犯罪は10番目だった(トップはヤミ金融や悪徳商法などの詐欺的犯罪)。市民の暴力団に対する感覚の薄さ・軽さが、取り締まる側のわれわれと大きくかけ離れていることに戸惑いを感じている。

犯罪組織である暴力団が日本からいなくなったわけではない。暴力団対策法が施行された平成4年以前は暴力団員がまちを堂々と闊歩して、脅しや強要など社会正義に反する犯罪行為や迷惑行為を働いていた。対策法施行後、警察は法律を最大限適用し、暴力団を締め上げてきた結果、表面上彼らの影は薄くなった。

暴力団対策法は効果があったが、一方で暴力団が顔の見えない陰湿な存在になったことも確かである。警察は暴力団がなくなれないかぎり、対策法を柱に取締りを続ける。暴力団の不法な収益を剥奪する規制など、近年法的な整備も進んでいる。

暴力団の組織犯罪は社会の変化に応じて変容し、組織の維持・拡大を図っている。手口も悪質・巧妙化している。平和な市民生活や健全な社会経済活動に対し脅威になっていることを忘れないでほしい。ヤミ金や悪徳商法も直接あるいは背景に暴力団がいる。山口組の五菱会はヤミ金融で100億円以上の金を集めた。暴力団は産廃、債権回収、エセ同和、エセ右翼などに浸透している。暴力団の存在を感じたら、躊躇せず警察に相談してほしい。

【茨木の例：中国人による組織窃盗事件】

一昨年暮れから昨年6月にかけて茨木や吹田など北摂を中心に中高層マンションでピッキングによる空き巣狙いが増えた。室内の物色・散乱状況(現金だけでなくパソコンや化粧品のようなものまで持っていく)から中国人の組織窃盗と推定、連日張り込み捜査を続けた結果、

奈良町と若園町で2つの中国人窃盗団(計4人)を逮捕した。犯人は逃走を図り激しく抵抗、うち一人は5階建てビルの屋上から飛び降り重傷を負った。犯人を徹底的に追及した結果、上海グループと福建省グループによる組織窃盗団であることが判明した。

【治安悪化の要因】

日本の治安悪化は構造的なもので、長期的と中期的2つの要因がある。長期的な要因は家庭や学校、地域社会が大きく変貌し、日本的な組織・ムラの社会が崩壊したことだ。昔は隣近所が助け合っていた。こわいおっちゃんがいてその辺のワルは厳しく仕込んでいたし、どこの子が悪いのかも皆知っていた。これがなくなったことは大きいと思う。

中期的な要因はバブル経済とその崩壊、不法滞在の外国人の急増、長引く不況と失業の増大、現在・将来に対する国民の不安拡大などだ。こうしたことが日本社会の犯罪抑止機能を低下させ、日本の誇ってきた治安を悪化させた。長期的な要因、中短期的な要因を考えると治安対策の裾野は広い。

皆さんにお願いしたいのは、市民一人一人が「水と安全はただではない」という意識を持つことだ。われわれ警察は安全が水や空気のような治安大国を復権させることに必死で取り組む使命を肝に銘じている。

【茨木の取り組み：市民との連携】

警察一人の力には限界がある。捜査権と逮捕権はあるが、皆さんの力を借りないと捜査も立ち行かない。犯罪の防止も限られた数の警察官では無理だ。警察もしっかりしなければならぬが、何と言っても茨木市と連携を強化する必要がある。管内の関係機関、事業所、自治会、地域住民との連携をこれまで以上に強化し、その総力によって安全安心な地域づくり・まちづくりを進めていかなければならない。これが今求められていることである。

一昨年の11月26日に皆の力で安全安心なまちをつくらうということで、茨木市長を会長、茨木警察署長を副会長とし、茨木市、市の関係機関、警察、各事業所、各種団体などの支援・協力を得て、「茨木市安全なまちづくり推進協議会」を設立した。オール茨木市民でわれわれのまちを犯罪から守らうという発想で、それぞれの機関がそれぞれのアイデアを出して、治安維持のためいろいろな対策に取り組んでいる。

警察も皆さんの協力を得て様々な対策を打ち出している。「ひたくり・子供110番郵便赤バイク隊」の結成もそのひとつ。郵便配達員のバイクの赤い箱に子供110番、ひたくり予防のPRをシールで貼り付けている。各戸を回る郵便配達員の力を借りているわけで、子供は何かあったら郵便局員に「助けて」と言えばよい。

新聞配達員の協力も得ている。事務所荒らしや自販機荒らし、自動車盗などは午前1時から4時ごろまでの深夜帯に発生することが多い。警察も警戒しているが数に限界があり、この時間帯に活動している新聞販売店に協力を求めた。配達先の老人の姿が最近見えず郵便物もたまっている、雨で崖崩れが起きる可能性がある、事務所の前で見張りをしているような人物がいる、青少年がバイクを分解している など、配達員が一番よく知って

いる。その力を借り、警察に通報してもらう。通報を受けて警察はすばやく駆けつける。その結果は通報者に知らせることにした。

市民がわれわれに求めていることは、いざという時に頼りになる警察官だと思う。市民を守ることでできる実力と使命感を持つ警察官である。署員に対しては機会あるごとに広く市民の声に耳を傾ける、市民の目線でものを考えるようやかましく言っている。また警察は何のためにあるのかということをよく考えて勤務するよう指導している。

これからも茨木署員一丸となって安心安全なまち茨木をつくるため、しっかり取り組みますので、叱咤激励とご指導ご鞭撻、それにご協力をよろしくお願いします。

ニコニコ箱

日野岡副 S.A.A

夫人誕生

中江

結婚記念

松尾、坂井

上杉署長興味深いお話有難うございました

簡

上杉署長卓話ありがとうございました

掛谷

簡会長よりベトナムの焼物を頂いて 日野岡、山田

久し振りに出席させて頂き暖かくお迎え頂きありがとうございました

ありがとうございました

武智

錦での写真が何とか撮れており安心しました

笠原

親睦委員会 先日は京都観桜会ご苦労様でした大変楽しかったです又よろしく

久保

大森会員のお心遣いにより素晴らしい観桜会が出来ました 有難うございました

山田

山口さん有難うございました

山田

遅刻お詫び

秋山

職場訪問、観桜会の写真を頂いて

秋山、掛谷、日野岡、久保、中西、長澤、野田

松尾、坂井、大森、戸川、山田

緑の羽根募金 ￥6,550

本日計65,550円 累計1,701,889円

次回卓話

「こんなにスピーチがうまくなる」

元NHKアナウンサー 寺谷一紀氏